

2023年7月4日  
イオン株式会社



## 一般社団法人日本ボッチャ協会と シルバーパートナー契約を締結しました ～イオンは日本ボッチャ協会を応援しています～

イオンは、一般社団法人日本ボッチャ協会（JBFA）が掲げる「一緒があたりまえの社会にする」というパーパスに賛同し、「イオン社会福祉基金」とともに、JBFAとシルバーパートナー契約を締結しました。「イオン社会福祉基金」は、全国の障がい者の方々の社会活動への参加促進と、障がい者福祉の向上を図ることを目的に、イオンが1977年に設立したものです。

イオンが地域とパラスポーツをつなぐハブとなり、各地域でのパラスポーツ競技の認知度向上や競技人口の裾野を広げる一助になりたいと考えています。

このたび、JBFAと連携することで、全国のイオン店舗を活用したボッチャ体験会の開催などを通じて、ボッチャ競技の振興と普及の支援に取り組んでまいります。



イオンは、創業時より国籍・人種・性別・学歴・宗教・心身の障がいの有無にかかわらず、多様な人材が活躍できる企業を目指してまいりました。地域のヘルス&ウェルネスを支える企業になるという経営ビジョンを掲げ、すべてのお客さまが心身ともに健康で、多様性を尊重しあい、誰もが自分らしく生きられる共生社会の実現に貢献したいと考えています。

こうした考えのもと、イオンは2018年3月に公益財団法人日本パラスポーツ協会（JPSA）とオフィシャルパートナー契約を締結しました。以来、今日までにパラスポーツの体験型イベント『イオン de パラスポ』を、全国の店舗でのべ40回以上開催しており、多くのお客さまにご参加いただいています。

このたびのJBFAとのパートナー契約を機に、全国にある地域のボッチャ協会とも連携を図り、イオンが全国の自治体と締結している包括連携協定を関連づけた活動を実施することで、イオン、地域自治体、競技団体の三者が共創的に地域共生社会の実現をめざす取り組みを加速します。

具体的には、イオンの店舗でイオン従業員がボランティアで運営する体験会や、各地で開催される競技大会に向けた、観戦促進を目的とした機運醸成イベントでの連携、また、JBFAが主催するイベントの開催会場提供など、多方面にわたっての連携を計画しています。

イオンは、今後の誰もが相互に人格と個性を尊重し、人々の多様性を認め合える共生社会の実現に向け、継続的にパラスポーツの普及支援活動を推進してまいります。

以上

## ご参考

# 7月15日(土)16日(日) みんなでパラスポーツを応援しよう！ イオンモール札幌発寒にて「イオン de パラスポ」を開催！



イオンは、パラスポーツの体験や交流イベントを通し、お客さま、地域アスリート、競技団体との連携、共生社会への理解醸成を推進することを目的に2018年から「イオン de パラスポ」を開催しています。昨年は、北海道でもイオンモール札幌発寒とイオンモール札幌苗穂で開催し、多くのお客さまにご参加いただきました。

約1年ぶりの北海道での開催となる今回は、イオン株式会社およびイオン社会福祉基金（以下、総称して「イオン」）は、日本ボッチャ協会とシルバーパートナー契約を締結したことを記念したセレモニーイベントをはじめ、ボッチャ日本代表「火ノ玉JAPAN」の皆さまによるトークショーや競技のデモンストレーション、ボッチャやビームライフルの体験会なども実施いたします。

## 記

### 【イオン de パラスポ In イオンモール札幌発寒の概要】

1. 日時 2023年7月15日(土)16日(日) 10:00~17:00
2. 会場 イオンモール札幌発寒 1階すずらん広場、中央エスカレーター前  
(札幌市西区発寒8条12丁目1)
3. 主催 イオン株式会社、イオン北海道株式会社
4. 共催 一般財団法人札幌市スポーツ協会
5. 協力 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ指導者協議会  
一般社団法人日本ボッチャ協会、イオン社会福祉基金
6. 後援 札幌市
7. 主な内容
  - ①イオンと日本ボッチャ協会によるシルバーパートナー契約セレモニー&フォトセッション  
日時：7月15日(土) 13:00~  
場所：1階すずらん広場 特設ステージ  
参加者：日本ボッチャ協会 事務局長 三浦 裕子 さま  
イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長 鈴木 隆博  
※プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」公式チアダンスチームのオープニングパフォーマンスもごさいます
  - ②パラアスリートによるトークショー&デモンストレーション  
日時：7月15日(土) 13:05~14:00  
場所：1階すずらん広場 特設ステージ  
参加者：火ノ玉JAPAN 杉村 英孝 選手 廣瀬 隆喜 選手  
日本ボッチャ協会 日本代表監督 井上 伸 さま  
強化スタッフ 櫻井 博紀 さま  
普及推進部長 新井 大基 さま
  - ③ビームライフル体験会およびボッチャ体験会  
日時：7月15日(土)・16日(日)のイベント開催中、適宜  
場所：1階すずらん広場

## ■「イオン de パラスポ」について



店舗を活用した体験イベントを全国で開催

イオンは、東京2020パラリンピック競技大会を契機に、日本パラスポーツ協会（JPSA）とオフィシャルパートナー契約を締結しました。2019年より、パラスポーツに触れ、体験できる機会を提供する店舗イベント『イオン de パラスポ』の全国展開を開始し、現在までに40回以上開催しています。ポッチャをはじめとした、様々なパラスポーツの競技体験会や、パラアスリートによるトークショーなど、インクルーシブなパラスポーツの楽しさを通して、多様な方々が相互に支え合う、“心のバリアフリー”への理解を深めていただくことを目的に開催するものです。

## ■「イオン社会福祉基金」について



2020年9月 苦小牧市への福祉車両の贈呈式

イオンは、全国の障がい者の方々の社会活動への参加促進と、障がい者福祉の向上を図ることを目的に、1977年に「イオン社会福祉基金」を設立しました。この基金は労使双方がひとり当たり毎月50円ずつ（労使双方で100円）を積み立てるもので、イオン従業員によるボランティア活動を柱とした社会福祉活動を行っています。これまで、北海道では自治体への福祉車両の贈呈や、障がい者福祉施設で開催されるクリスマス会や新年交流会や地域の清掃のお手伝いなど、様々なボランティア活動を実施しています。

## ■一般社団法人日本ポッチャ協会（Japan Boccia Association）について



1997年11月設立。「一緒があたりまえの社会にする」をパーパスに掲げ、日本国内の肢体不自由者を中心とした障がいのある方の競技力向上を目指し、すべての障がいのある方、及び健常者に対して広く一般的にポッチャの振興と普及を図り、ポッチャを通じて障がいの有無に関係ない、インクルーシブな社会の実現をミッションとしています。

## ■火ノ玉 JAPAN について



ポッチャ日本代表のチーム名です。「火ノ玉」とは、魂（ソウル）、心の活力を表し、ただ投げる・転がすのではなく一球一球に魂を込め、闘志を燃やして競技をするという意味が込められています。東京2020パラリンピックでは、個人戦で金メダル、ペア戦で銀メダル、団体戦で銅メダルを獲得。激しく闘志を燃やし一丸となって戦う様子などを例えた、「火ノ玉となって戦う」という言葉になぞり、個人だけではなく、ジャパンチーム一丸となって勝利を目指します。

以上